
令和6年度 事業報告書



社会福祉法人 種崎福社会

種崎保育園

令和6年度 種崎保育園 事業報告書

子どもを取り巻く環境や政策が大きく変化する中、人口減少に伴う保育問題は、いまや全国的な課題となっています。

当園では、令和6年度より利用定員を30名に変更し、また、なんとか園児減少の危機が止められるよう、海里マリン病院のマリン保育室と連携を取り、一人でも入所していただけるよう行事にお招きして、交流を増やしてきました。4月は23名からのスタートで、職員一同不安でいっぱいでしたが、5名の途中入園があり、28名で終えることができました。

今後も地域的に園児数の増加は見込めない状況ではありますが、当園では、令和7年度より、三里地区でまだ行っていない「休日保育」を始めるなど、今後も保育園と地域が手を取り合って、一人ひとりの子どもたちと子育てが応援、支援されるような「こどもまんなか社会」の実現に向けて保護者や地域に発信していきたいと思っています。

また、令和6年1月1日には能登半島地震が起こり、その後各地で地震が多発し、災害への備えの重要性がますます高まっています。令和6年度は、園内研修にも力を入れ、救命救急講習・BCP訓練(事業継続計画)・感染症BCP・安全計画の見直し等を行い、防災、安全についても周知徹底を行い、職員の防災意識の向上を図ることができました。

(1) 保育時間

平日…7:15～19:00(18:30以降は、延長保育)

土曜…7:15～17:30

(2) 児童数の推移 (単位:名)

	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	計
4月	7	4	3	5	3	1	23
5月	7	4	3	5	3	1	23
6月	7	4	3	5	3	1	23
7月	7	4	3	5	3	1	23
8月	7	4	3	5	3	1	23
9月	7	4	3	5	3	2	24
10月	7	4	3	5	4	2	25
11月	7	4	3	5	4	2	25
12月	7	4	3	5	5	3	27
1月	7	4	3	5	5	3	27
2月	7	4	3	5	5	3	27
3月	7	4	3	5	5	4	28
平均							24.8

(3) 職員数 (令和7年3月現在) (単位:名)

園長	主任保育士	保育士	看護師	調理員	パート	嘱託医	計
1	1	6	1	2	4	2	17

☆パート…事務・補助調理員・フリー保育士・早出、居残りを含む

☆嘱託医内訳…内科医 1名 (坂井内科小児科)

歯科医 1名 (小松歯科)

(4) 事業報告

【行事関係】（年間事業活動より抜粋）

- (4月)こいのぼり運動会・・園庭で行う。三里マリン病院マリン保育室、パールマリンケアハウスのみなさんをお招きして、それぞれ競技に参加してもらい、交流を深めることができた。その様子が高知新聞にも掲載された。マリン保育室には、写真入りのお礼状を渡す。
- (5月)交通安全指導・・・・・年長・中の参加で、比島交通公園にて行う。
ミュージカル観劇・・年長・中が参加
- (6月)参観日・・・・・全クラスで行っている毎朝の運動遊びの様子を見てもらい、その後各クラスでの参観を行う。
- (7月)元気っこまつり・・・9:30開始。太鼓や踊りを園児が披露した後、ゲームやおもちゃを販売する。
出店には、地域の方々に協力していただき、【お楽しみコーナー】を開催。10人を超える方が参加をしてくださり、盛大に行うことができた。桑名市長をご招待したが、公務が重なり、メッセージを頂いた。山中理事長、山内理事他のご厚意で、ポン菓子を販売する。マリン保育室からは、2名の参加。十津小学校井手校長先生来園。
- 保幼小連携・・・・・十津小学校井手校長先生が、一日保育士体験研修で年長のクラスに入る。
- (9月)敬老の日・・・・・敬老の方に子ども達が年齢に応じた作品を制作し、送る。
交通安全教室・・・・・東警察署交通安全課の方より、交通安全指導を受ける。園庭に実際に信号灯や横断歩道を設置し、正しい交通ルールを学ぶ。
- (10月)運動会・・・・・例年にない猛暑のため、園児の安全に考慮し、舟倉津波避難センターで行う。
来賓及び保護者の方も無理のない参観ができ、観客との距離も近く、室内での運動会開催は好評だった。マリン保育室参加。
種崎地区作品展・・舟倉津波避難センターで行われた作品展に出展する。
- (11月)親子遠足・・・・・天気も良く、数年ぶりの親子遠足を楽しむことができた。(山北みかん狩り)
秋まつり・・・・・保幼小連携の一環として、年長児が三里小学校で行われた「秋まつり」に参加する。
勤労感謝のポスター配布・・港湾事務所・三里交番・三里消防・坂井内科小児科・宮崎氏
- (12月)生活発表会・・・・・病欠欠席者もなく、子どもたちの成長した姿を保護者に見ていただくことができた。
クリスマス会・・・・・マリン保育室を招待して開催。クリスマスプレゼントをサンタクロースから渡してもらった。
- (1月)親子お楽しみ会・・・・・例年3月に行う「年長親子お楽しみ会」を1月に行う。園児だけで参加していた、「年始の町見学」と「オーテピア見学」を親子で参加し、木曜市での買い物等を楽しむ。
おもちつき・・・・・お餅つき体験用のもちを準備し、子ども達が杵で餅つきを体験したり、餅の感触を楽しむ。(体験用は廃棄) 一人用の皿にきな粉、砂糖じょうゆ、あんこをいれ、感染対策を行いながら楽しむことができた。
- (2月)参観日・・・・・毎朝行っている、朝の運動遊びを見てもらった後、月1回行っている体育教室の先生による運動遊びや親子で体を動かして楽しむ。
また、「引き渡し訓練」と「保護者防災食試食体験」も同時に行う。
十津小恩返しプロジェクト・・・・・当園卒園の十津小学校6年生を含む4名が遊びに来てくれた。子どもたちに絵本を読んでもくれたり、園庭で一緒にサッカーをしたり、楽しく交流を深めることができた。
十津小学校より校長先生、教員1名来園。
- (3月)卒園式・・・・・3月22日(土)に保護者や祖父母も出席して、7名の卒園児を送り出すことができた。
- ※避難訓練・体育教室・硬筆教室・絵本の読み聞かせを行う。
 - ※2か月に1回の身体測定
 - ※4・5歳児は毎日のフッ素洗口
 - ※内科健診・歯科健診・・・年2回
 - ※視力検査・・4,5歳児
 - ※尿検査・・・・・4,5歳児

(5) 令和5年度 その他の取り組み

【パーテーション購入】

性被害防止対策設備のため、パーテーションを購入。

【再建に向けての取組】

独立行政法人 福祉医療機構 債権第1課より、3名が来園し話し合いを行う。(R6.11/19)

【個人用着替え袋】

避難訓練の反省を踏まえて話し合いを行い、避難センターに「個人用着替え袋」を備蓄として保管することになった。どういう状況の避難になるか想定できないが、「第一に子どもの命を守る」ことを優先に考え、避難所で着替えをすることとした。9月から開始し、11月に袋の中の衣替えを行う。

(6) 苦情処理第三者委員会報告

第1回 令和6年8月27日(金) 18:30～

- ①令和6年現在までの苦情処理報告
- ②令和6年度取り組み及び報告事項
- ③情報・意見交換

第2回 令和7年3月18日(月) 18:00～

- ①令和6年度事業報告
- ②令和7年度事業計画
- ③情報・意見交換

(7) 理事会の開催

- ① 第1回理事会…5月23日(木) 15:00
 - ② 第2回理事会…9月30日(月) 15:00
 - ③ 第3回理事会…3月18日(火) 15:30
- ◎5月11日 監事監査

(8) 評議員会の開催

- ① 定時評議員会…6月7日(金) 15:00

(9) 保幼小及び地区連携

- | | | |
|---------|------------------|-------------|
| ・4/20 | 十津小学校参観日 | 1名出席 |
| ・5/14 | 三里地区保幼小連絡会 | 2名出席 |
| ・5/16 | 第1回三里小学校運営協議会 | 1名出席 |
| ・5/18 | 三里中学校体育祭 | 1名出席 |
| ・5/22 | 第1回三里地区人権啓発推進委員会 | 1名出席 |
| ・5/25 | 三里小学校運動会 | 1名出席 |
| | 十津小学校運動会 | 1名出席 |
| ・5/30 | 種崎地区津波防災検討会 | 1名出席 |
| ・6/15 | 十津小学校人権教育講演会 | 1名出席 |
| ・7/9～11 | 三里中学校職場体験学習 | 1名来園 |
| ・7/24 | 保幼小連携保育体験研修 | 十津小学校校長先生来園 |
| ・9/11 | 三里地区園長、校長会 | 1名出席 |
| ・9/27 | 第2回三里小学校運営協議会 | 1名出席 |
| ・10/5.6 | 種崎地区作品展 園児作品出品 | |

- ・10/10 十津小学校授業研究会 2名出席
- ・11/6 種崎地区津波防災検討会 1名出席
- ・11/7 三里小学校“秋まつり” 年長児参加 職員2名参加
- ・11/7 第3回三里小学校運営協議会 1名出席
- ・11/16 十津小学校音楽会 1名出席
- ・11/17 種崎地区防災会避難訓練 1名出席
- ・2/4 三里小学校運営協議会 1名出席
- ・2/5 保幼小連携事業 三里小学校連絡会 1名出席
- ・3/3 保幼小連絡会 2名出席
- ・3/5 保幼小連携連絡会 1名出席

(10) 研修状況

日 時	研 修 名	参加者
4月5日	高知市乳児保育研修	山 本
4月10日	特別支援担当保育士・加配保育士研修	山 本
4月12日	園内研修「AEDの使い方」	全職員
4月23日	体調不良児対応型病児保育事業 担当看護師オリエンテーション	竹 内
5月9日	看護師研修	竹 内
5月28日	キャリアアップ研修 マネジメント	西 村
5月29日	人権研修	高 瀬
6月1日	園内研修「救命救急講習」	全職員
6月10日	食育研修会	中川・前島
6月12日	プール管理講習	山本・久米
6月13日	アレルギー対応研修	山 本
6月15日	人権教育講演会	久 武
6月20日	園内研修「嘔吐物処理実技演習他」	全職員
7月16日	特別支援加配保育士(D配置)研修	山 本
7月19日	親育ち支援講座	西 岡
7月25日	アレルギー対応研修	山 本
7月26日	キャリアアップ研修 マネジメント	西 村
9月9日	乳児保育研修	山 本
9月18日	体調不良児対応型病児保育事業 担当看護師研修会	竹 内
9月19日	南海トラフ地震対策研修会	久 米
10月4日	救命救急講習会	山 本
10月10日	十津小学校授業研究会	久 武
10月21日	実践保育研修	山 本
10月29日	子育て支援研修	西 岡
10月31日	特別支援加配保育士(D配置)研修	山 本
11月5日	園内研修「アレルギーの対応について」	全職員
11月6日	保育施設における感染対策研修会	竹 内
11月27日	キャリアアップ研修 マネジメント	西 村
12月26日	保幼小架け橋プログラムシンポジウム	岩 下
1月15・16日	防火管理講習	西 岡
2月1日	園内研修「BCP訓練」	全職員
2月18日	特別支援加配保育士(D配置)研修	山 本

(11) 各種訓練実施報告

月日	訓練種別	ねらい	反省
4/24	避難・消火 地震・津波・火災	新年度に入り避難訓練の重要性を知り、集中して避難する。保育者同士の連携を取り、落ち着いて避難訓練を行う。	今回の訓練では、各クラス避難の態勢はスムーズに行えたようだが、ヘルメットの被り方に問題があったので、普段から練習をしていくようにする。火災時の手のマスクも繰り返し伝えていく。火災発見者は大きな声で知らせるようにする。
5/8	避難・消火 地震・津波・火災	職員は連携を取り声を掛け合い、安全に避難できるようにする。声掛けを聞き、子どもたちは自分で行動できるようにする。	今回は園庭活動中の訓練だったが、大きな混乱もなく保育者の誘導に従い避難することができていた。一人一時避難に遅れたり頭巾がうまく被れなかったりしたので、部屋での練習をする。0歳児の頭巾は、おんぶの際顔が隠れて危険な為着用はせず頭を守りながら素早く避難するようにする。年少中のヘルメットに前後のシールを張ったのでスムーズに被れていた。火災の知らせを聞いた職員は周りに知らせながら避難するようにする。
6/20	避難・消火 地震・津波・火災 通報訓練	子どもへの声かけを静かにに行い、落ち着いて避難できるように配慮する。地震発生時の優先順位や速やかな行動をとるための相談をしっかりと行う。	今回は室内での活動中ということもあり、少し子どもにも戸惑いもあったが、保育者の指示に従い避難できた。乳児組の靴履きは声を掛け合って手伝ってもらうようにする。火災発見の知らせは他の職員にも伝わりスムーズに通報できた。乳児組の避難のため活動する場所に靴をもっていくように保育者に周知する。避難車の台数も担任が知らせておく。職員間の連携を大切にこれからも訓練をしていきたいと思う。
7/18	避難・消火 地震・津波・火災	個々の行動をしっかりと確認して、子どもたちをプールサイド、園庭等に誘導し、避難所へ誘導をしていく。	幼児組はプール活動中ということもあり子どもたちは驚いた様子だったが、保育者3人の誘導をしっかりと聞き慌てることなく避難できた。プール監視者が、避難場所までタオル箱を持っていくことを確認する。乳児組は不安で泣く子もいなく、声をかけ続けることでスムーズな避難につながった。これからも連携を取り合い訓練をしていきたいと思う。
8/1	避難・消火 地震・津波・火災	合同保育中の避難なので子どもたちの行動、保育者の動きを予想しながらスムーズに避難できるようにする。(乳児組 プール活動中)	乳児組がプール活動中の避難訓練、落ち着いてプールから出、揺れの収まりを待つことができていた。保育者が常に声をかけることでスムーズに避難できていたので、これからも連携を取り合い訓練に参加していきたい。
9/2	避難・消火 地震・津波・火災	どんな場合でも保育士の声掛けで、自分の身を守る避難ができるよう身につける。	1. 2歳児の靴がわからなかった事を受け、靴入れや、靴に名前を記入してもらう。乳児の担任が一人先に降りて避難車の指示にあたる。避難車にも誰が乗るのか分かるようにする。近くに保育者がいなくてもどうすればいいのか繰り返し話しておく。
10/24	避難・消火 地震・津波・火災	様々な時間帯に災害が起きることを想定し、子どもたちが落ち着いて避難できるようにする。	午睡中の訓練で、戸惑う子もいたが、保育士の声かけで速やかに避難することができた。日ごろの訓練が身についていることを実感できた。また、担任は頭巾、ヘルメットの確認を毎月しておくようにする。
11/20	避難・消火・通報 地震・津波・火災 消防立ち合い通報訓練	震度6の地震による津波、火災の発生。災害の内容を理解し、園児の避難とその安全確保及び関係職員の任務遂行。	三里消防署との合同訓練ということで、緊張感もあったものの、幼児組は保育者の指示に従い、手のマスクで避難できた。避難中の私語はしないよう再確認をする。乳児組は他の職員の援助を受けられるよう窓の施錠確認を声を掛け合います。全職員、消火器の場所と説明書の確認しておく。子機を使つての通報も移動ができて良かったので子機を使うようにする。
12/12	避難・消火 地震・津波・火災	どんな場合でも保育士の声かけで、自分の身を守る避難行動ができるようにする。	幼児組は素早く避難待機でき、避難センターへ避難できていた。職員も声を掛け合い、乳児組への誘導がスムーズにできていた。各クラス、ヘルメットを被るのが苦手な子には練習をするようにする。

月日	訓練種別	ねらい	反省
1/22	避難・消火 地震・津波・火災	震度6強の地震による津波、火災発生。災害の内容を理解し、園児の避難とその安全確保及び関係職員の任務遂行	乳児組は、ヘルメットや頭巾を被ることを意識して、練習していく。全体的には素早く避難できていた。職員間で避難の状況を声かけ合いながらできていたので良かった。
1/24	避難 不審者訓練	不審者の侵入を想定し、園児の避難とその安全確保及び関係者の任務遂行	避難する場所を間違えそうになった子どももいたが、保育者の声かけで、すぐ気づき避難できた。不安を与えないように声かけをし落ち着いて待つことができていた。職員の行動もそれぞれの役割を果たせていた。防犯ブザーの音が出にくい職員のいたので、確認しておく。全職員が、正確な通報ができるよう個々に持っている緊急連絡票に園の住所、電話番号を記入しておく。
2/1	引き渡し訓練 防災食試食体験	避難場所での引き渡しを想定し、職員が役割分担をし、速やかに保護者に引き渡すことができるようにする。	引き渡しカードを個人ではなく世帯でまとめているので、カードを探すのも速やかにできた。保護者も何回目かの体験で、戸惑うことなく書類記入ができていた。 その後の「防災食試食体験」も、おいしく食べながら、防災への意識を高めることができてよかった。
2/19	避難・消火 地震・津波・火災	災害内容を聞き、保育者は臨機応変な行動を取り、指示をする。	全クラス、園庭での活動中、地震の知らせに落ち着いてはいたが、特に乳児組は立ち尽くす子もいたので、側にいた保育者が声を掛け合いすぐ集まることができた。どの状況でも動けるよう保育者同士連携をしっかりとっていきたい。幼児組は避難行動が身についており上手くできたことを十分褒めていきたい。
3/5	避難・消火 火災・通報	春季全国火災予防運動の一環として、初期消火、通報及び避難誘導体制の確立並びに防火意識の向上を図る。園児の避難とその安全確保及び関係職員の任務遂行。	天候不順の為、三里消防署合同訓練は中止となり、自主訓練を行った。各クラスとも、保育者の声かけを聞き避難できていた。火災の避難として、大きな声で手や腕のマスクを知らせ、子どもたちも気づくことができていた。0.1歳児の成長に合わせ、おんぶひもや靴をどうするのか、今後も計画的に話し合いをしていく。

令和 6年度 親育ち支援 年間報告書

施設名（ 種崎保育園 ）

年間目標	- 一人ひとりの保護者の状況やその意向を理解、受容し、それぞれの家庭環境に配慮した適切な支援をする - 保育園の特性を生かして、子どもの育ちや生活を保証することで、保護者にとっても安心の場とし、保護者との信頼関係を築く				
月	取組	対象	保育者のねらい	内容	反省
4	今年度の取組について	保育者	一人ひとりの子どもの特性や、その子を取り巻く環境の共通理解を図り、保護者に寄り添った支援の確認をする	- 気になる子ども、家庭状況の情報確認 - 家庭支援の計画と記録の確認 - 送迎時や連絡帳（0～5歳児）を活用し、日々の子どもの様子を保護者に伝える	令和6年度の取組について全職員が意見を出し合い、確認することができた。
	こいのぼり運動会	保護者	新しい環境に慣れ、子どもたちが頑張る姿を見て、応援してもらう	- 子どもの頑張る姿を見て、成長を喜ぶ - 他の園児にも応援をして一緒に成長を喜ぶ	雨天のため順延で行った。勤務の関係で参加できない保護者もいたので、雨天の場合は避難センターで行うようにする。マリノ保育室、ケアハウスも参加し盛大にできた。
5	交通安全指導（年長・中）	保護者	交通安全の指導を受け、正しい交通ルールを身に付ける	指導の内容を保護者に知らせ、家庭でも親子で交通ルールについて話し合う機会を持ってもらう	学習してきた交通ルールを保育園でもう一度振り返るとともに家庭でも話し合う機会をもってもらうことができた
6	参観日	保護者	- 保育者との関わりや、子ども同士の関わり、会話等を参観する - クラス懇談で保護者の困りごと等を話し合い、保護者の不安を取り除く	- 家庭では見られない子どもの遊びや周囲の人との関わりを見る - 保護者間で子どもの成長や悩みについて話し合う	家庭では見られない子どもの様子をじっくり見てもらうとともに、家庭での話を聞くことができた。
	基本的生活習慣 取り組み月間	3歳児 保護者	正しい生活習慣が子どもの成長に与える影響について理解してもらい、見直しをする	「すくすくリズム」の学習会を開き、「早寝、早起き、朝ご飯」の大切さを伝える 「すくすくリズム」の取り組みの説明をする	参観日後、取り組みの説明をする。正しい生活習慣の重要性を理解できるように書面で渡すことで意図することが伝わったと思う。
7	元気っこまつり	保護者	- 子どもたちが楽しみながら表現をする様子を参観する - 出店で買い物をして、親子でお祭り気分を味わう	- 子どもが楽しく踊る様子を見て、喜び合う - 出店等で小学生との交流や、親子での楽しい時間を共有する	和太鼓や踊りなど披露し、子どもたちの成長を見てもらうことができた。十津小PTAや地域の方との交流を深めることができ今までにない盛大なお祭りになった
9	敬老への手紙	祖父母	年齢に応じて手作りの作品を作成し、おじいちゃんおばあちゃんに送り、敬いの気持ちを育てる	- お年寄りに対して優しい気持ちを持てるようにする - 作品を送ることで、おじいちゃんおばあちゃんと喜びを共有する	作品をつくるだけではなく、お年寄りに対する優しい気持ちを育てることができたと思う。県外の方からお礼状を頂いた。
10	運動会	保護者	- 一人ひとりの子どもが、自分の力を出し切り、挑戦する姿を応援する - 子どもたちが友だちを応援する、協力する姿を見守る	- 子どもが頑張る姿を共に応援し、成長を喜び合う - 家庭でも子どもの頑張りを認め合う	猛暑の中「親子が安全にできる運動会」を考え室内で行った。涼しい室内で観客との距離も近く、保護者からも「よかった」という声を頂いた。
11	親子遠足	保護者	- 親子でゆったりとした楽しい時間を共有する - 友だちとの関わりの様子を見る	- 親子で楽しい時間を一緒に過ごす - 他の保護者との交流を深め、保護者も楽しむ時間を持つ	雨天でも楽しめるように避難センターを借りていたが、天気にも恵まれ親子でみかん狩りを楽しむことができた。
	基本的生活習慣 取り組み月間	3歳児 保護者	望ましい生活習慣について見直しをし、保護者の理解を深める	再度、基本的生活習慣の重要性を伝え、見直しをする	2回目の「すくすくリズム」に取り組む。全員が「達成賞」をもらうことができた。今後も正しい生活習慣が送れるように声をかけていく。
12	生活発表会	保護者	当日までの経過を含め、それぞれの子ども頑張りを認め、楽しめる環境を整える	- 当日に至るまでの子どもたちの様子や経過を知らせる - 子どもたちが楽しみながらいきいきと発表する姿を参観する	少人数のため、乳児合同、幼児合同で開催。一人一人の子どもの表情までゆったり見ることができ、保護者から子ども達の成長を喜び声が聞かれた。
1	基本的生活習慣 取り組み月間	4・5歳児 保護者	進級、就学にあたり望ましい生活習慣について、保護者の理解を深める	- 基本的生活習慣の重要性を伝える - 年長児は就学に向けて、親子でルールを話し合う	就学前に身につける生活習慣の重要性を保護者に伝え、親子で取り組むことができた。今後も正しい生活週間を続けていくよう声をかけた。
	5歳児個人懇談	5歳児 保護者	- 一人ひとりの子どもの成長を伝え、小学校への円滑な接続ができるよう働きかける - 保護者の思いを受け止めることで次につなげていく	- 就学までに身に付けておきたいことについて説明をし、確認をする - 子どもの状態を詳しく伝え、保護者の悩み等を聞くことで不安を取り除く	現在の子どもの様子を伝えるとともに保護者の悩み等を聞き、アドバイスをする。親子が円滑に就学に向けて進めるよう不安を取り除いていくことができた。
2	参観日	保護者	- 親子で楽しめる時間を提供する - クラス懇談で保護者同士が意見を出す場を設ける	- 子どもの様子を参観し、1年間の成長を喜び合う - クラス懇談で保護者同士、成長を実感し合い、来年度へつなげていく	避難センターで普段の運動遊びや「体育教室」を行い、親子で体を動かして楽しむことができた。引き渡し訓練、非常食試食体験も行い災害に対する意識を高めることができた。
3	次年度に向けて	保育者	今年度の反省、振り返りを行い、子どもの様子や保護者の状況及び経過を確認し、来年度に繋げていく	- 引き継ぎ事項の確認 - 今年度の育ちを共有し、次年度担任へ申し送る	令和6年度の反省をもとに令和7年度への目標や振り返りに対する職員間の情報共有を行うことができた。

令和6年度 種崎保育園 保健計画報告書

【年間目標】		◎ 心身ともに健康なからだを育てる ◎ 子ども自らが健康と安全に関する力を身につける ◎ 積極的に身体を動かし丈夫な身体をつくる		【定期保健行事】 ・園医検診 年2回 ・身体測定 2か月/1回 ・歯科検診 年2回 ・尿検査 4・5歳児対象 ・フッ素洗口 4・5歳児対象 ・視力検査 4・5歳児対象	
期	保 健 目 標	活動内容	健康面・安全衛生留意点	保護者・園児への働きかけ	保健事務その他
1期 (4・5・6)	・園生活に慣れ安心して生活できる ・朝食をしっかりとる ・衛生的な生活習慣を身につける ・生活リズムを整え新しい環境に慣れる ・歯を大切にする ・アレルギー児童の把握	・尿検査(4・5歳児) ・身体測定 ・内科検診 ・歯科検診 ・フッ素洗口 ・新入所時の生育歴、健康状態把握	・生活リズムが整うまで健康観察を丁寧に行う ・睡眠時チェックを行う(睡眠時の事故予防) ・環境変化による事故発生に注意する ・虫歯の状況を把握し衛生指導を行う ・予防接種状況を確認する	・安全衛生について保健だよりなどを 通して知らせる(流行しやすい病気の伝達) ・与薬及び体調不良児対応保育の 書類配布、説明をする ・健康診断、内科検診、歯科検診の結果を 知らせ、必要に応じてアドバイスを する ・予防接種、乳幼児健診の啓発	・アレルギー、留意点等を共有 ・各書類の準備、確認 ・尿検査の準備、配布、回収 ・蟻虫検査(保育士:1回/月) (調理員:2回/月) (10月～3月ノロウイルス検査実施) ・救命救急園内研修(AED) ・嘔吐物処理園内研修 ・歯科保健指導
2期 (7・8・9)	・衛生的に過ごす ・夏の暑さに留意し、快適に過ごす ・プール遊びで体力を培う ・あせもとびひを予防する ・発汗対策 ・適度な運動、休憩をとる	・プール管理の研修会 ・プールに関する準備 ・フッ素洗口 ・身体測定 ・腹痛、下痢等の諸症状確認	・プールの衛生管理、安全点検を行う ・室内の温湿度を管理をする ・戸外に出るときは帽子の着用を促す ・活動と休息のバランスに配慮する ・こまめな水分補給に配慮する ・皮膚疾患の有無に注意する	・夏の健康について口頭やお便りで知らせる ・プール遊びの健康チェックに協力してもらう ・熱中症予防を呼びかける ・虫刺されやとびひについて園での対応 を保護者に周知する ・夏の衛生管理について知らせる	・プール管理日誌の作成 ・予防接種等の確認
3期 (10・11・12)	・さまざまな運動遊びを通じて 体力増進を図る ・手洗い、うがいを習慣づける ・丈夫な体をつくる ・夏の疲労回復に努める	・内科検診 ・歯科検診 ・手洗い、うがいの施行 ・身体測定 ・フッ素洗口 ・視力検査 ・気温変化による衣服調節	・夏の疲れ、気温の差による体調不良に十分に留意 し、衣服の調節や休憩を促す ・予防接種状況の確認 ・感染性胃腸炎時の吐物、汚物処理方法を徹底する ・身長、体重、体調についてチェックし園医に相談する ・正しい手洗いができるようにする	・内科検診、歯科検診、視力検査の結果報告 ・薄着の習慣をつけるよう働きかける ・手洗い、うがいの大切さを知らせ習慣が 身につくよう促す ・胃腸炎罹患時の対応、予防をアドバイスする ・流行しやすい病気の掲示	・医療棚、救急用品の確認 ・アレルギー児に対する緊急時 対応の園内研修
4期 (1・2・3)	・寒さに負けず、元気に過ごせる ようにする ・一年間の成長発達を確認する ・風邪予防に努め丈夫な体をつくる	・流行性感染症の把握と早期発見 ・部屋の温湿度管理 ・薄着の施行 ・一年間の成長記録のまとめ ・フッ素洗口	・薄着や散歩などの体力づくりで健康の保持増進 を図る ・部屋を換気し、温湿度を適切にし快適に過ごせる ようにする ・年長児のアレルギー児の確認を行い学校へ継続的に つなげていく ・頻繁な感染症情報を更新する	・手洗い、うがいに加え、食事や睡眠の 大切さを伝える ・厚着は運動の妨げにもなり、危険が伴う ことを知らせ協力を促す ・年長のアレルギー児の保護者に対し学校へ の提出書類について知らせ受診を促す	・進級、進学するにあたり予防 接種の漏れがないか確認する ・次年度健康管理に関する書類の 準備 ・次年度の計画を立てる ・感染症業務継続計画園内研修
反 省 振り返り	・猛暑時のプールでは、水温や気温に気を付けながら実施したり、中止する判断を行い、園児の体調管理に努めることができた。 ・日々、各教室内の空調設備や衣服の調節など環境にも注意することで感染症に罹患する園児を最小限にすることができた。 ・園内研修では、実際にAEDの機会に触れることで、少し恐怖心がなくなり、操作になれることができた。 ・入園児のアレルギー情報や職員への伝達周知がスムーズにできた。				

令和6年度 種崎保育園 食育計画報告書

期		1 期 (4 月～5 月)	2 期 (6 月～8 月)	3 期 (9 月～12 月)	4 期 (1 月～3 月)
0 歳	☆内容 ■ねらい	■安定した人間関係の中で、安心して食事をし、心地よく過ごす。 ☆ゆったりとした雰囲気の中で、保育者の優しい声掛けや援助により、授乳をしてもらったり離乳食を食べる。	■食事の前後の挨拶をして食べる。 ☆食事の前後の挨拶を知り、保育士と一緒にに行く。	■色々な食べ物を見る、触る、噛んで味わうなどの経験を通して、食べることに慣れ親しむ。 ☆食事に関心を持ち、スプーンなどを使い、自ら意欲的に食べようとする。	■スプーンやフォークを使い、よく噛んでから飲み込む。 ☆咀嚼する力や飲み込む力が育ち、いろいろな食材を意欲的に食べる。
	☆援助 ■環境 ■構成	■ゆったりくつろげる環境を整え、ふれあい遊びや外気浴等でお腹がすく環境を作る。 ☆家庭と園で情報を共有し、一人ひとりの発達に応じた食事ができるようにする。	■姿勢が安定して食事ができるよう、イスと机の間隔を配慮する。 ☆手を添えて一緒に行くことで、挨拶が身につくようにする。	■自分でしようとする気持ちを大切に、個々に応じて量や食材の大きさを調節していく。 ☆食べる楽しさやおいしさを共有したり、意欲的に取り組む姿を認めることで食べる意欲を育てていく。	■自分で食べられるよう、机や食器、スプーンの配置などを工夫し、環境を整える。 ☆個々に合わせて援助をしていき、しっかり噛んで食べられるようにしていく。
1 歳	☆内容 ■ねらい	■新しい環境の中、友だちや保育者とともに楽しい雰囲気でお食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。	■よく噛んで食べることが大切だということを知る。 ☆歯に興味を持ち、よく噛んで食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。	■姿勢を意識して食事をし、正しい姿勢で椅子に座り、食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。	■食事食など色々な食材の料理を楽しみながら味わう。 ☆様々な食材や食べ物に興味、関心を持ち、進んで食べようとする。
	☆援助 ■環境 ■構成	■友達と一緒に楽しく食べられるよう関係づくりに配慮する。 ☆食事の前に絵本を見たり歌を歌ったりすることで、楽しい雰囲気ができるようにする。	■それぞれの子どものに合わせて、食材の大きさを変えるなどして食べやすいようにする。 ☆よく噛んで食べる大切さを知らせ、「もぐもぐ」「かみかみ」としぐさや言葉で促すようにする。	■正しい姿勢で食事ができるように椅子と机の位置を調整する。 ☆口に運びやすいように援助し、上手に食べられた時は認め、意欲が持てるようにする。	■行事の際は、季節感を味わいながら楽しく食事ができるように空間作りをする。 ☆自分で食べようとする意欲を見守り、自分でできた際は満足感が得られるように褒め食事の自立を促す。
2 歳	☆内容 ■ねらい	■新しい環境に慣れることで、友だちと一緒に食事をすることを楽しむ。 ☆楽しい雰囲気を感じながら、意欲的に食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。	■スプーンやフォークを正しく持って食べる。 ☆「下手持ち」「バキューン持ち」に興味を持ってやってみようとする。	■色々な食材の味を知る中で、苦手な物でも食べようとする。 ☆保育者とのやり取りや保育者と友だちに応援されることで、少量ずつでも食べてみようとする。	■お箸を使つての食事に挑戦しようとする。 ■食事のマナーを身に付ける。 ☆お箸を持つことに興味を持ち、やってみようとする。 ☆三角食べや口の中に詰め込まないことを意識しながらよく噛んで食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。
	☆援助 ■環境 ■構成	■ゆったりとした雰囲気の中で落ち着いて食事が楽しめるようにする。 ☆友だちと一緒に食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。	■持ち方のイラストや写真を掲示し、わかりやすく興味を持てるような環境を整える。 ☆保育者が持って見せたり、挑戦しようとする子どもの手に正しい持ち方で持たせたりする。	■一人ひとりの食べられる量を把握し、完食することができるように量を調整する。 ☆苦手な物でも頑張って食べている姿を受け止め、褒めることで完食する喜びを感じられるようにする。	■トンゴやお箸のおもちゃなど、興味を持って遊べるような環境を作る。 ☆一人ひとりの状態を把握し、それぞれに応じた援助や環境で無理なく箸を経験できるようにする。
3 歳	☆内容 ■ねらい	■新しい環境に慣れ、楽しく食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。	■食事と歯磨きの大切さを知り、丁寧に磨く。 ☆歯の役割や歯の大切さを知り、食後は進んで歯磨きを行う。	■食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。	■食事のマナーを身に付ける。 ☆箸やフォークの持ち方や姿勢に気を付けて食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。
	☆援助 ■環境 ■構成	■生活や遊び、睡眠、排泄、諸活動等をバランスよく行い、食欲を育むようにする。 ☆個々の食事量を調節して、気持ちよく食事ができるようにする。	■食事と歯磨きの大切さを知り、衛生面に気をつけ、個々の磨き方を援助する。 ☆歯磨きをしないと虫歯になり、噛むことができない事や、歯を丈夫にする食品を知らせていく。	■収穫、遊ぶ体験を通して食材やその役割を知り、食べる意欲を育む。 ☆芋ほりを経験したり、食べることで自然と食事の繋がりを知らせたり、四季により色々な食材が収穫されることを知らせる。	■箸やフォークの持ち方、使い方を遊びに取り入れながら、楽しく正しい持ち方ができるようにする。 ☆個々のできない部分を援助していき、自分なりに取り組んでいけるようにする。
4 歳	☆内容 ■ねらい	■一つ一つの食材に健康な体を作る働きがあることを知る。 ☆三角食べを意識して、バランスよく食べる。	■野菜の収穫を喜び、恵みに感謝する。 ☆収穫の時期に気づき、季節ごとに様々な食材がある事を知る。	■食事が丈夫な体を作ることを知り、よく食べ、意欲的に活動する。 ☆バランスよく食べることが健康な体を作ることを知る。	■食べ物を通して日本の伝統と食文化に関心を持つ。 ☆季節の食べ物と、体の関係に興味を持ち、意欲的に食事をし、進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。
	☆援助 ■環境 ■構成	■食事の初めに味わいタイム等を設け、食材をよく噛んで、じっくり味わうことを知らせる。 ☆食事前に献立表や食材の話をして、料理への関心を深める。	■給食に旬の食材が入っていることに気づけるようにする。 ☆旬の食材が新鮮でおいしいことを知らせる。	■食べ物に関する絵本や図鑑を読んだり、その日の献立の展示を見ることで食事への関心が深まるようにする。 ☆子どもの気づきの言葉を受け止め、食事への関心を深める。	■年間行事や季節と関連させて、日本の伝統と食文化を伝える。 ☆苦手な食べ物を少しでも克服しようとする意欲を認めていく。
5 歳	☆内容 ■ねらい	■身近な野菜を友だちと一緒に栽培し、共に生長を楽しむ。 ☆育てた野菜が口に運ばれるまでの過程に関心を持つ。	■友だちと楽しく食事をし、三角食べを意識しマナーを身につける。 ☆食事の流れやマナーを再確認し、気持ちよく食事ができるようにする。	■食に関する活動の中で、友だちと協力してやり遂げることが増え、達成感を味わう。 ☆食事の準備から後片付けまでの流れの中で、自分でできる事、友だちと協力してできる事を増やす。	■食事のマナーを身に付け、小学校の給食に期待を持つ。 ☆学校給食の時間や献立を知る。
	☆援助 ■環境 ■構成	■献立に入っている食材と一緒に確認しながら、栄養素に関心が持てるようにする。 ☆自分の食べた物が元気な体をつくっていることを知らせる。	■食事の環境を清潔にし、音楽を流したりして落ち着いて食べることができるようになる。 ☆マナーを守ること、みんなが気持ちよく食事ができるようにする。	■当番活動を通して、意欲が高まるようにする。 ☆友達と食に関する活動をする中で、関わりが深まるようにする。	■一日入學で小学校への関心を持ち、さらに意欲をもって食べることができるようになる。 ☆食事のマナーと一緒に再確認する。
アレルギー対応		個々のアレルギーの状況を把握し、代替食を提供する。	配膳の間違いが起こらないように、アレルギーマニュアルをもとに、2人以上で配膳の確認をする。	個々のアレルギー状況を把握し、定期的な受診の下面談をし、全職員間で情報を共有する。	進級、進学の際には、担任、調理員、職員等で引き継ぎをし、周知徹底する。 進学先にも、抜かりの無いよう伝達を行う。
反省及び振り返り		・0歳児は離乳食→完了食→未満食への移行も個人差に応じて、無理なく進めることができた。保護者にも食の状態を伝え、情報を共有しながら進めていった。 ・1、2歳児は、好き嫌いが出てくる子もいたが、励ましたり側で声をかけることで、完食できるようになっていった。 ・幼児組は、苦手な食材も少しずつ食べられるように量を減らすなどして、子どもの気持ちを大切にしながら、食事が楽しいと感じられるように工夫できた。			

種崎保育園 令和6年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画に基づいた報告書

令和6年4月1日現在

事業の目的				保育理念(事業運営方針)				園児の心身ともに健やかな育成のため設備、環境及び運営の向上に努めます。また各種保育事業に取り組み保護者及び地域に根ざした保育園を目指します。							
保育方針				園の保育目標				☆心身ともに豊かな子ども ☆意欲を持つ子ども ☆思いやりのある子ども ☆自分で考えて行動できる子ども							
子どもの保育目標 (保育目標・保育の内容とともに年間指導計画の基礎事項・年間指導計画・行事のねらいは別紙)				0歳児	一人ひとりの生活リズムを大切に生理的欲求を満たし、おだやかな日常を送りながら、保育者との愛着関係を築く。		3歳児	生活や遊びの中で、ルールを大切にし、友だちとの関わりを深めていく。		保育時間など	2・3号認定／基本保育時間 標準認定 7:15～18:15 短時間認定 8:30～16:30 延長保育時間 標準認定 18:15～19:00 短時間認定 7:15～ 8:30 16:30～19:00				
				1歳児	発達に応じた活動を楽しみ、保育者との関係も深めながら信頼関係を深めて行く。		4歳児	自分の思いや、相手の思いに気づき、協力し合い楽しむ。			主な行事(日常の節目としての行事設定)	入園式／始業式／誕生会／歯科検診／内科検診／こいのぼり運動会／絵本の読み聞かせ／体育教室／硬筆教室／水泳教室／夕涼み会／おいもパーティー／お餅つき／年始の街見学／交通安全教室／小学校一日入学／マラソン大会 保育参観日／高知港見学／運動会／プール開き／七夕／秋の遠足／生活発表会／クリスマス会／節分／作品展／ひなまつり／卒園式／修了式			
				2歳児	保育者に見守られながら、基本的生活習慣を身につける。		5歳児	見通しを持って意欲的に活動する。							
■保育所保育に関する基本原則／役割目標			■保育の方法／環境		■保育所の社会的責任		■養護に関する基本的事項		■保育の計画と評価		■幼児教育を行う施設として共有すべき事項		◎小学校との連携(接続)		
児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。保育に関する専門性を有する職員が、養護及び教育を一体的に行う。保護者支援及び地域の子育て支援等を行う。			健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、一人一人の発達過程に応じ、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育する。保護者を理解し適切に援助する。		人権に配慮する。子どもの人格を尊重し保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する。個人情報適切に取り扱う。保護者の苦情解決を図るよう努める。		養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。		保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価を行い、保育内容の改善を図る。		生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。		保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなどして、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。子どもに関する情報共有に関して、就学に際し、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにする。また資料にも続き、情報交換を行う。		
■保育の目標			・生命の保持・情緒の安定を図り、生きる力の基礎を培う。 ・豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたりできるようになる。 ・気づいたことやできるようになったことを使い、工夫し、表現する ・心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営む。												
■養護 (保育士が行う事項)			年齢	乳児	1歳児(満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	◎小学校以上の連携に鑑みて					
			生命の保持	生理的欲求を満たし、安心して過ごせるようにする。	一人ひとりに合った生活リズムに整えるようにする。	生活や遊びを楽しみ、健康で過ごせるようにする。	安定した基本的生活習慣を通して、心と身体を育てていけるようにする。	健康な生活リズムを身に付けられるようにする。	自分で考え、健康や安全への意識を高め行動できるようにする。						
			情緒の安定	応答的な関わりの中で愛着関係が築けるようにする。	保育者の愛情を感じ欲求を受け止めてもらい、安心して過ごせるようにする。	友だちとの関わりを深められるようにする。	意欲的に活動し、自己肯定感が育つようにする。	友だちとの関わりを深め、思いに気づき認め合えるようにする。	自信を持って行動し、友だちとも共感できるようにする。						
◎ねらい及び内容並びに配慮事項(養護と教育は一体となって展開されることに留意)															
◎教育 (園児が環境に関わって経験する事項) ※乳児は3つの視点、幼児は5つの領域で区分されている。(基本的事項を十分に参照) ※指針では乳児と満1歳に区分されているので、満1歳を迎えた場合は1歳児の5領域を参照。 ※子どもの発達や成長の援助をねらいとした活動の時間については、意識的に保育の計画等に位置付けて、実施する。なお、活動の時間については、保護者の就労状況等に応じて子どもが保育所で過ごす時間がそれぞれ異なることに留意して設定する。			(乳児)3つの視点	乳児	(満1-3歳未満児)5領域	1歳児(満1歳より)	2歳児	(3-5歳児)5領域	3歳児	4歳児	5歳児	■幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目		■教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱	
			健やかに伸び伸びと育つ	伸び伸びと身体を動かし、はう、歩く等の運動をしようとする。	健康	食事や午睡、遊びと休息など、園における生活リズムが形成する。	自分の身体を十分動かし、様々な動きをしようとする。	健康	保育者に見守られながら、基本的生活習慣に気づき、自分でてみようとする気持ちが育つ。	身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄など、生活に必要な活動を自分でする。	自分達で生活の場を整えながら、見通しをもって行動する。	ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協働性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活の関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現		ア 豊かな体験を通して、感じたり、気づいたり、分かったり、できるようになったりする 「知識及び技能の基礎」 イ 気づいたり、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする 「思考力、判断力、表現力等の基礎」 ウ 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする 「学びに向かう力、人間性等」	
			身近な人と気持ちが届く合う	安心できる保育者と関わり、愛情や信頼関係が芽生える。	人間関係	保育者と安定した関係の中で共に過ごす心地よさを感じる。	身の回りに様々な人がいることに気づき、徐々に他児と関わりを持つ。	人間関係	友だちと関わりを深め、思いに気づく。	友だちの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。	友だちとの関わりを深め、思いやりのある行動をとる。				
			身近なものに関わり感性が育つ	身の回りの物に親しみ、感覚による意識が豊になり様々な物に興味関心をもつ。	環境	玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。	様々な物に関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。	環境	身の回りの物に触れ、形や色、大きさ、量に気づく。	自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。	身近な物に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら試し、工夫して遊ぶ。				
					言葉	保育者との応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。	人の言葉や話などを聞き、自分でも思った事を伝えようとする。	言葉	自分の思いや、感じた事を自由に伝える。	したいこと、してほしいことを言葉で表現する。	人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。				
★健康支援／状態把握・増進・疾病対応			★食育の推進(食育計画別紙)			★環境及び衛生管理並びに安全管理			★災害への備え			◆子育て支援		△職員の資質向上	
・健康及び保育発達状態の定期的、継続的な把握 ・年2回の嘱託医による健康診断(内科・歯科) ・登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ・年1回職員健康診断及び毎月の検便(10～3月/ロウイルス検査実施) ・体調不良型病児保育の取り組み(病児の養護と看護) ・地域の子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援 ・4.5歳児の視力検査の実施 ・4、5歳児尿検査			・栄養バランスを考えた自園給食の提供 ・食育活動の実施 ・全園児へ炊き立て白飯の提供 ・行事食の提供 ・アレルギー食の代替食対応 ・野菜や花の栽培			・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持 ・感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ・毎日の消毒・体温チェック・手洗いうがいの励行 ・年2回の消防点検及び毎月の消火訓練 ・警察署指導交通安全教室 ・年長児交通安全指導(比島交通公園) ・危機管理マニュアルの作成(感染症対策計画・事故対応マニュアル・プール遊びマニュアル・食物アレルギー対応マニュアル・HAGCP)			・避難訓練(火災、地震、不審者対応)の実施(毎月) ・消防署通報訓練(年2回) ・毎月消火訓練の実施 ・避難場所への備蓄の確保・確認 ・年2回外部業者による消防設備点検 ・危機管理マニュアルの作成(消防計画・南海トラフ地震計画・風水害対応マニュアル・事業継続計画・安全計画)			・全園児連絡帳の活用 ・月1回以上クラスだより配布 ・保健だよりの配布 ・園庭開放及び育児相談 ・在園保護者への支援(子育ての悩み等) ・アレルギー児の食事等相談 ・個人面談		・質の高い保育を展開するため、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るようにする ・研修等に参加し、専門性を高め、結果を活用する ・チェックシートを活用し、自己目標の設定及び反省、評価を行い、資質の向上に努める ・園評価を行い、外部からの意見等を参考にする。	
情報公開等			・園の概要の情報公開 ・ホームページの開設		・苦情処理解決対応及び第三者委員会設置 ・運営規定、重要事項説明書、前年度決算書類の掲示		特色ある教育と保育			・家庭的な保育 ・2ヶ月児より保育 ・連絡ノートの活用 ・水泳、体育、硬筆教室 ・毎月絵本の読み聞かせ ・縦割り保育の充実 ・アレルギー児対応食の充実 ・看護師の専門者の配置 ・防災教育の充実					
地域の実態に対応した保育事業と行事への参加			・地域合同避難訓練参加 ・地域施設との交流		・地域施設夏祭り参加 ・地域作品展出張 ・園行事への地域の方の招待		研修計画			・園外研修への参加 ・キャリアアップ研修への参加 ・園内研修(5回)					
自己評価等			・保育所の評価(全体の反省による全体計画等の反映) ・自己チェックリストの実施及び管理職による面談		・保育士等の評価 ・園評価の実施										

令和6年度 高知銀行 返済報告書

- 1 施設の名称 種崎保育園
- 2 整備種別・年度 改築 ・平成30年 11月竣工
- 3 償還金額

(円)

償還回次	償還期日	償還金額	内訳	
			元金	利子
第64回	R6.4.10	288,712	257,000	31,712
第65回	R6.5.10	289,584	257,000	32,584
第66回	R6.6.10	288,353	257,000	31,353
第67回	R6.7.10	292,330	257,000	35,330
第68回	R6.8.13	285,928	257,000	28,928
第69回	R6.9.10	287,815	257,000	30,815
第70回	R6.10.10	289,678	257,000	32,678
第71回	R6.11.11	286,440	257,000	29,440
第72回	R6.12.10	288,285	257,000	31,285
第73回	R7.1.10	288,100	257,000	31,100
第74回	R7.2.10	284,922	257,000	27,922
第75回	R7.3.10	287,729	257,000	30,729
合 計		3,457,876	3,084,000	373,876

4 借入機関等

借 入 機 関	高知銀行		
借 入 金 額	58,500,000		
契 約 年 月 日	平成31年2月4日		
償 還 期 限	令和21年1月10日		
償 還 期 間	20年		
無 利 子 期 間	なし		
利 率	H31.2.4(第1回)～ R5.12.11(第59回)	0.65%	R6.1.10(第60回)～ R9.3.10((第98回)
償 還 回 次	240		
償 還 金 額	63,086,839		
	元 金	12,850,000	45,650,000
	利 子	1,651,403	2,935,436

※ 令和6年1月10日支払い分より固定金利利率が変更される。(0.65%→0.85%)

※ 固定金利利率は3年毎に見直しが予定される。

令和6年度 福祉医療機構 返済報告書

- 1 施設の名称種崎保育園
- 2 整備種別・年度 改築・平成30年 11月竣工
- 3 償還金額

(円)

償還回次	償還期日	償還金額	内訳	
			元金	利子
第62回	R6.4.10	126,438 + 151,487	112,000 + 150,000	14,438 + 1,487
第63回	R6.5.10	126,378 + 151,481	112,000 + 150,000	14,378 + 1,481
第64回	R6.6.10	126,317 + 151,475	112,000 + 150,000	14,317 + 1,475
第65回	R6.7.10	126,256 + 151,468	112,000 + 150,000	14,256 + 1,468
第66回	R6.8.10	126,196 + 151,462	112,000 + 150,000	14,196 + 1,462
第67回	R6.9.10	126,135 + 151,456	112,000 + 150,000	14,135 + 1,456
第68回	R6.10.10	126,074 + 151,450	112,000 + 150,000	14,074 + 1,450
第69回	R6.11.10	126,014 + 151,443	112,000 + 150,000	14,014 + 1,443
第70回	R6.12.10	125,953 + 151,437	112,000 + 150,000	13,953 + 1,437
第71回	R7.1.10	125,892 + 151,431	112,000 + 150,000	13,892 + 1,431
第72回	R7.2.10	125,832 + 151,425	112,000 + 150,000	13,832 + 1,425
第73回	R7.3.10	125,771 + 151,418	112,000 + 150,000	13,771 + 1,418
合 計		3,330,689	3,144,000	186,689

4 借入機関等

借 入 機 関	独立行政法人 福祉医療機構	独立行政法人 福祉医療機構
借 入 金 額	31,300,000	41,700,000
契 約 年 月 日	平成31年1月17日	平成31年1月17日
償 還 期 限	令和26年1月10日	令和26年1月10日
償 還 期 間	25年	25年
無 利 子 期 間	なし	なし
利 率	0.65%元金均等	0.05%元金均等
償 還 回 次	277回	277回
償 還 金 額	34,077,515	41,978,965
	元 金	31,300,000
	利 子	2,777,515